



今月の主な内容

- 町民文化・芸能一堂に集う……2～3
- 町野球強化への取り組み……4～6
- 協働について考える……8～9
- 町民生児童委員を紹介……10

繊細な衣装と豊かな表情が美しい和紙人形。太鼓群を背に膝を折り曲げ、駒の手綱を引く子どもの姿は、今にも踊りだすかのように躍動感あふれる作品に仕上がっていました。中央公民館のステージに飾られた総勢42人の「駒踊り」は、来場者の目を一際引く存在感に満ちあふれていました。

(写真は、11月2日から4日まで軽米中央公民館を主会場に開催された町民文化祭・展示部門での和紙人形展。関連記事は3ページに掲載)

豊かな芸能作品

一堂に集う

第二十八回目を迎えた町民文化祭は、展示部門が十一月二日から四日まで、第十六回文化協会ステージ発表会が十一月十日にそれぞれ軽米中央公民館を主会場に開催されました。地域や団体、個人を問わずに生涯学習として誰もが、いつでも取り組める文化・芸能活動。その成果を一堂に会し訪れた人の目と心を楽しませていました。

公民館を埋め尽す 個性作品がずらり

中央公民館のホールにずらりと並べられた菊花展には、六十鉢が出品され、白や黄色、紫など色とりどりの花が菜場者を出迎えました。出品されたものうち色や形など特に秀作な優等賞以下道定江さん（下岡子上組）の

作品が選ばれ、町教育委員会と町文化協会から表彰状とカブツが贈られました。

和紙人形の会（尾田川ヒサ会長、会員九人）が作成した駒踊りの和紙人形全四十二体が、ステージ上に展示されました。子どもたちの躍動感あふれる踊りと、迫力ある太鼓演奏を和紙で忠実に表現。来場者からの興味を引いていま

趣向を凝らした 発表で観客を魅了

館内の壁面には、書道や絵画、俳句などが展示されたほか、二階研修室には墨と筆だけで表現した水墨画や写真も出品。童謡室には町内小・中学校の児童生徒が書いた書写と絵画など約六百点が並べられました。園児が描いた読書感想画百三十点も町立図書館

町文化協会の加盟団体が出演するステージ発表会には約百二十人が訪れ、趣向を凝らした各団体の発表を楽しみました。

二階に展示され、見学に訪れた子どもたちは自分の作品を見つけては喜んでいました。旧生活文化博物館では、女性教室「かつぼうぎ塾」の受講生が手がけたパッチワークや藍染なども展示されています。

各団体の紹介は、代表者がインタビュ形式で自己紹介を行いながら自らの活動をPR。本年度の若手芸術祭・映像部門で優秀作品に選ばれた軽米ビデオサークルのビデオ映像や、昨年実施された結成二十周年記念コンサートの模様を紹介した創作太鼓の会座・宇漢米、当日の司会進行を務めた人形劇サークルじゃ

全42体の駒踊りを制作した 和紙人形の会の皆さん



座・宇漢米、当日の司会進行を務めた人形劇サークルじゃ

日ごろの活動成果を発表しました。

代表の尾田川ヒサさん（写真中央）「今回の『駒踊り』は、みんなでアイデアを出し合って4月ごろから始めました。会員みんなで同じものに取り組んだのは初めてのことで、一人3、4体ぐらいつ作成しました。普段からも月に2日ぐらいの割り合いでみんなで集まっては、お喋りしながら楽しく和気あいあいと人形づくりを行っています。次回も何か郷土芸能シリーズづくりに取り組んでみたいですね」

菊花展で2つの 優等賞を受賞した 下道定江さん



下道さん（写真）は「菊を育て始めたのは20年ぐらい前からで、現在は50鉢ぐらいあるかな」と、菊づくりの大ベテランです。最高の優等賞をダブルで受賞し、喜びの笑顔を見せていました。

各団体では、活動に興味ある方を募集しています。あなたも挑戦してみませんか。



心一つに奏でる歌声響く

第40回町小中学校音楽会（町教育研究会主催）が11月6日、軽米中体育館で開催されました。軽米中の全校約200人による合唱で開幕。町内の12校、約500人の児童生徒は、表情も豊かにきれいな歌声を披露しました。他校の発表には静かに聞き拍手を送るなど、会場が一つになった発表会となりました。



勇気の 一歩で歌の輪 広げるコンサート

「はじめの一歩」は～とふるコンサート（あおぞらの会主催）が11月18日、町農村環境改善センターで開催され子どもたちが楽器の演奏や合唱、劇などを発表しました。音楽を通して自ら新たな一歩を踏み出し成長して欲しいと、平成12年から毎年開催されているもので今回で7回目。堂々とした発表を見せる子どもたちに、会場からは大きな拍手が送られていました。



守り伝える 郷土の芸能 一堂に会す

第35回町郷土芸能まつりが11月25日、町農村環境改善センターで開催され、町内7つの郷土芸能団体が日ごろの伝承活動の成果を披露しました。会場には、約200人の観客が詰めかけ各団体に拍手を送ったほか、伝承活動の支援として賛助券購入への協力をいただきました。



① 結成から15年の大正琴クラブ ② 結成10年目を迎えた軽米ダンスクラブ ③ 三味線に合わせた踊りを見せた郷土民謡研究「北栄会」 ④ 合計3ステージを披露した軽米ソーラン ⑤ 軽米芸能愛好会の浅水利恵さん演じる「女鬼龍院」 ⑥ 拍手と声援を送った観客の皆さん ⑦ 軽米町民の歌を披露した軽米童謡を歌う会は結成15年目



少年球児の「夢」甲子園を 地元軽米で実現させよう

小・中 小中生の「夢」の扉開く 清水隆一さんの野球教室

「夢」づくりスポーツ親善大使・少年野球教室（スポーツふれあい交流推進事業実行委員会主催）が、町内の小学生を対象に本年五月三日から十一月二十五日まで全八回、延べ十九日間にわたって開催されました。

高い技術と指導力のある講師の指導で人材育成につなげようと、日本オリンピック委員会



清水コーチングスタッフ代表
清水隆一さん

元早稲田大学野球部主将。榊熊谷組時代に主将を務め8年連続都市対抗野球に出場。現在は、(財)日本オリンピック委員会野球競技強化スタッフを務める。東京都出身。48歳。

員会・野球競技の強化スタッフなどを務める清水隆一さん（左上写真）を迎え、月一回程度、主に土日に開催。小学生と中学生を別々に指導するなど経験と体力に合わせた練習を行いました。

清水さんは、町内の中学生選抜選手で編成されるオール軽米Kボールチームの監督も兼任。六、七月の県大会と十月に開催され

指導者を対象にした講習会の講師も務め、コミュニケーションを中心としたコーチングと選手との信頼関係づくりの大切さについて、熱心に指導いただきました。



ハートフル球場に少年球児を集めて開催された清水さん（右）による野球教室（写真は11月10日の指導風景）

第30回町総体が開幕

バレーボールに館内盛り上がる

第30回町総合体育大会が開幕し、11月18日のバレーボール競技第26回大会に13チーム、選手180人が参加しました。町民体育館を会場にA、Bの2ブロックに分かれて熱い戦いを繰り広げました。上位結果は次のとおりです。（○は順位）

【A】①小玉川 ②小軽米 ③山内
【B】①上新町 ②大町元屋町・下新町 ③円子



町長杯ミニバス 軽米勢は優勝を逃す



第5回町長杯ミニバスケットボール大会が11月4日に町民体育館で開催され、男女各3チームが参加しました。軽米勢は惜しくも優勝を逃しましたが、女子は小学4年生を中心としたチーム編成など来季以降への期待が高まります。大会結果は次のとおりです。（○は順位）

【男子】①久慈 ②軽米 ③南部町
【女子】①赤保内（階上町） ②久慈 ③軽米

小学生 スポ少選手の選抜チーム オール軽米ジュニア結成

町内のスポーツ少年団からの選抜選手で編成されるオール軽米ジュニアチームが新たに結成され、十月十三日と十四日に山形県で開催された第九回KB・シングルA（小学生クラス）野球選手権大会に初出場しました。今大会出場に向けて町内のスポーツ少年団に所属する選手から女子二人を含む二十一人を選考。ユニフォームは、中学生選抜の

オール軽米と同じデザインで作成されました。

大会には全国から十二チームが参加。オール軽米ジュニアは、予選リーグを一勝一敗で三位リーグ（七・八・九位決定戦）に進出。最終順位は

中学生 中学生選抜Kボールで 選手の意欲を活性化

中学生選抜によるKボールチームのオール軽米は、県中学生Kボール新人野球大会（県KB野球連盟主催）の平成十五年（参加十九チーム）と十七年度（参加二十一チーム）に、二度の準優勝を果たしています。

十八年三月には、第六回全国中学生選抜野球大会に初出場を果たしました。予選リーグで敗退したものの全国から強豪が集まる大会で大きな経験をしました。

本年八月には、静岡県で開



全国大会という大舞台を経験したオール軽米ジュニアの選手たち

九位でしたが、全国の少年チームとの交流会も開催され、子どもたちにとって、とても貴重な経験となりました。

監督を務めた菅原敏見さん（車門）は「選抜チームが、小学生時代から互いに切磋琢磨し合い、技術と精神力を培う場になってほしい。将来の選手育成につなげていきたい」と今後の選抜チームに期待を寄せていました。

催された第七回全国選手権大会に、岩手選抜チームのメンバーに選ばれた佐々木隆くん（軽米中三年）と山田健人くん（小軽米中三年）が、レギュラーとして活躍しました。

選抜チームであるオール軽米は、各中学校の活動と平行がっています。



小軽米中野球部
主将 杉浦慎太郎くん

一年間を通じて、清水さんからは体力づくりや投球フォームなど基礎から教えていただいて、分かりやすく楽しかった。来年は県大会での1勝をめざす。Kボールでもオール軽米の一員として活躍するのが目標です。



ベンチ前で円陣を組むオール軽米（ハートフル球場で10月13日に開催された県中学3年生県大会）

芝桜の植栽に 約230人が参加

ハートフル・スポーツランド内のパークゴルフ場周辺で芝桜の植栽作業が十一月三日に行われ、子どもから大人まで約二百三十人が参加しました。

町内中学生、県立軽米高の野球部員、スポーツ少年団なども参加し、日ごろ練習や大会などで自分たちが使用する公園内の環境整備に取り組みました。

芝桜の植栽は、本年五月のグリーンデー植樹以来二回目の作業で、この日は約二千株の苗を約千平方メートルの広さに一時間ほどかけて植え込みを行いました。





夢をつかむぞ
甲子園出場!

雪降るグラウンドで体力づくりに励む軽米高ナイン。チームスローガンの前で決意のガッツポーズ

地域のための病院めざし 住民との懇談会を開催

地域の意見を病院運営に生かそうと平成十六年度から毎年開催されている県立軽米病院（横島孝雄院長）の地域懇談会が、十一月六日に同院で開催されました。

横島院長が、同院の運営方針について説明。病院機能の将来像としてめざす高齢者の医療保健福祉の総合的なケア施設としての認定に向けた取り組みなど、四十七項目の重点事項について紹介したほか、年度別の外来・入院患者数の推移や収支決算について資料をもとに説明しました。最近の傾向は、町外からの入院患者が増え、療養病床を含めた十九年度の病床利用率は九割以上と昨年までに比べて非常に高くなっています。

出席した十五人の委員からは、救急患者の現状と受け入れへの対応、ジェネリック医薬品（※）に関する質問のほか、夜間診療への要望などが出されました。

横島院長は「町はもちろん県北地域全体の病院との意識でがんばっている。『軽米でできることは軽米で』を基本にしながら、より良い病院経営をめざしたい」と話していました。



地域からの委員と病院職員が意見交換した軽米病院地域懇談会

（※）ジェネリック医薬品とは、新薬の独占的販売期間終了後に発売される医薬品で、新薬と同じ有効成分で効能・効果、用法・用量が同一のもの。新薬に比べて低価格で、後発医薬品ともいう。

高校生

軽米高校が春の選抜甲子園 21世紀枠の岩手県推薦校に

県立軽米高校（高橋光彦校長、生徒三百二十二人）が、平成二十年三月に開催される第八十回記念選抜高等学校野球大会（春の選抜大会）の二十一世紀枠の岩手県推薦校に選ばれ、十一月十二日に同校体育館で表彰状の伝達が行われました。



表彰状を受け取る小林主将（左）

伝達を行った毎日新聞社盛岡支局長の白井進一さんが「秋の県大会では初のベスト四進出の快進撃を見せてくれた。チームのスローガン『一〇一％への挑戦』からも伝わってくる野球への情熱が他校より強く、町民からの

応援や小中学生の野球教室開催などで底上げを図る地域一丸となった取り組みが今回の推薦につながった。今日のことを胸に、甲子園出場という来べき日に備えて一歩一歩努力を重ねてください」と激励。日本高校野球連盟と毎日



軽米高校野球部
主将 小林直樹さん

今回、選抜大会の21世紀枠岩手県推薦校に選ばれたのは、秋の新人大会の成績だけでなく、学校生活、野球部OBの皆さんや3年生など先輩や地域の方々のおかげで、皆さんにたいへん感謝しています。冬季間に一層のトレーニングを積んで、来年夏の大会までに本物の力をつけていきたい。「出来ると思うな。出来ないと思うな」を合言葉に、気を緩めることなくチーム一丸となって、皆さんに夢と希望を与えられるようがんばります。

新聞社連名推薦の表彰状を小林直樹野球部主将に手渡ししました。

同校野球部は、平成十九年秋の県大会で準決勝に進出。三位決定戦では、東北大会でベスト四の盛岡大附校に延長の末敗れましたが、小規模校ながら県内の強豪校と互角にわたり合う戦力と、地域と一体となった野球への取り組みが評価されました。

二十一世紀枠による甲子園出場校は、各都道府県の推薦校の中から十二月に東北代表を一校に絞り、平成二十年一月に全三校が決まります。

障害者大会金メダリスト 山館さんが母校で講演



日本一の金メダルを首に掛けてみました



「共生への世紀」をテーマに講演した山館さん

第五回全国障害者スポーツ大会・立ち三段跳びの金メダリストで日本記録保持者の山館博行さん（市野々出身、横浜市在住）を講師に招いた道徳公開授業が十一月十七日、母校の小玉川

小学校で開催されました。山館さんは「若い頃、軽米の日本一を探した。何でもいから日本一になった。誰でも日本一になれるチャンスはあると信じている」と金メダルへの思いを話し「農業をし、自然と生きるすばらしさを都会に住んでみて改めて知った。環境保全への取り組みをここ小玉川から地球全体に発展させて」と子どもたちに語り掛けていました。

男女共同参画について じっくりと考えてみよう



「おらたちも何かやってみよう」と題し上演された寸劇

男女共同参画演出前講座（男女共同参画推進グループ「虹の会」主催）が十一月十七日、町防災センターを会場に開催され、約七十人が集まりました。

千厩地域男女共同参画推進クラブが、農家の主婦が始める産直経営についての寸劇を披露。苦勞と努力を重ね問題を解決しながら女性だけでつくり上げていく過程を演じました。

県男女共同参画センター指導員の吉田敬子さんが「南米ポリビアから見た日本」と題し、青年海外協力隊として訪れたポリビアでの体験を報告。暴力や低い教育水準など女性を取り巻く問題と、リーダーの存在と組織づくりが女性の地位向上へのきっかけとなった事例紹介に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



3世代交流会

町内会の交流・連帯をめざした活動

①環境整備・美化活動

「自分たちの地域は自分たちできれいにしよう」をモットーに防災センター周辺、雪谷川河川敷の清掃作業

②盆踊り大会

町内会と公民館、青年会が中心に実行委員会をつくり、3年前から民間業者の協賛により実施。多くの方が参加し賑わうが、町内会からの参加が少ないことが今後の課題

③3世代交流会

6年前から向川原公民館主催で実施。お年寄りから子供たちへ昔遊びを教えたり、餅つきやミズキ飾り体験などで交流を深めている。日常生活の中から挨拶や会話を交わし、安全で安心な地域づくりも狙いとしている。



町内会と行政と一緒に取り組む活動

◎管理用道路の簡易舗装作業

町内会の意見（町道と坊里沢川沿いの歩道の舗装）を役場に相談し、舗装資材・機械は町が、労力は町内会が負担しあう「ユイコのケアドー事業」を知った。回覧板で町内にお知らせしたところ、当日は予想を上回る約100人も人が集まった。参加者からは「埃も立たなく、歩きやすくなった」「町がやるのを待つことなく自分たちの手で完成させることができた」「行政と一緒にやることで役場の人の動き方などがよく分かる」などの声が聞かれました。

「協働」とは、行政が一方的に住民に「押し付ける」ことではありません。住民自身が考え行動しないと解決し得ない問題に、住民が行政の支援を得ながら課題解決に取り組むことにあります。生活をより良くするために地域、行政がそれぞれできることを協力し合う関係が「協働」です。皆さんも、自分たちの地域はどうなっていて、何か課題なのかを話しあい、地域の課題と、解決の方策を考えてみましょう。



向川原町内会 会長 戸草内勝夫さん

地域づくりには 住む人の知恵と 協力が不可欠

向川原地区は、平成十一年十月の豪雨災害で壊滅的な被害を受けました。復興事業により現在の街並みになりましたが、住み慣れた住居がバラバラになり、新たな住宅も建

ち隣近所の付き合いやコミュニケーションが昔に比べてまとまりが弱くなってきた。それを改善し住み良い町内会にしていきたいと、三世交代交流会など交流を深める事業に取り組んでいます。地域づくりは一人や二人の力では成し得ません。住む人の力と知恵と協力、自分の住む地域に愛着を持ち課題と問題意識を持つことが必要。リーダーとそれを支える仲間がいることも必要です。まだまだ解決しなければならぬ課題がありますが、どのような地域にしていけば良いか、多くの人と話し合いながら地域の輪を広げていきたいです。



【講師】 せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事 加藤哲夫さん

1985年にエコロジーショップを開業し、以後エイズ問題にも取り組む。97年に民設民営によるNPO支援センター「せんだい・みやぎNPOセンター」を設立。99年にNPO法人化し代表理事に就任。現在は、仙台市の市民活動支援施設「仙台市市民活動サポートセンター」を受託管理している。ほかにも行政職員研修、NPOマネジメント研修などの講師も務める。福島県出身。58歳。

も無報酬とは限りません。また町内会は、「町内をどうにかしよう」とする組織の一つ。町内会は地域的な集まりで、ボランティア活動またはNPO活動は、テーマ別の町内会組織ともいえる当事者同士の集まりなのです。

市民活動は意思決定への参加から

市民活動とは、一人が困っていることをみんなの、地域の課題としてとらえ解決に向けた活動を起こすことです。課題を解決しようとする共通

の認識を持った人同士が集まり、考え、行動することから始まります。どんなまちにしたいのか、当事者である住民が自ら考え話し合うことが必要です。意思決定に関わり、参加することでそこに愛着が生まれ、プライドも形成され、当事者意識が生まれる。問題意識を持ち、どうすればそれが解決につながるかを考えましょう。

おわりに

「協働」とは、行政が一方的に住民に「押し付ける」ことではありません。住民自身が考え行動しないと解決し得ない問題に、住民が行政の支援を得ながら課題解決に取り組むことにあります。生活をより良くするために地域、行政がそれぞれできることを協力し合う関係が「協働」です。皆さんも、自分たちの地域はどうなっていて、何か課題なのかを話しあい、地域の課題と、解決の方策を考えてみましょう。

協働について考えよう

自分たちの町のために 自分たちがしたいこと 自分たちができること



加藤哲夫さん（手前右）の分かりやすい講演に耳を傾けました

協働を考える会（二戸地方振興局主催、NPO法人カシオペア連邦地域づくりサポーターズ運営）が十一月二十三日、町農村環境改善センターで開かれ、住民や町職員など約百人が「協働」について理解を深めました。最近よく耳にする「協働」や「まちづくり」について、今回講師を務めたせんだい・みやぎNPOセンター代表理事の加藤哲夫さんのお話しを紹介しましょう。「協働のまちづくり」について考えてみましょう。

「まち」は誰でもひらける

「まち」とは「公共空間」のことをさします。行政主導により開発が進められる「都市計画」事業に対する考え方で、例えば、私的空間である一般家庭の台所や

茶の間は「まち」（公共空間）ではないが、この私的部分を「ひらく」ことで公共空間（まち）になります。

事例をあげると、長野県小布施町のオープンガーデニング（※1）、一般家庭の一室を開放した図書館「家庭文庫」（※2）

なぜ今「協働」が求められるのか

量産的拡大の高度経済成長時代に比べて、現在は豊かになりました。同時に住民自身が主体となつて取り組まなければ解決できない課題が残ってしまったともいえます。

役所だけの取り組みには限界があります。役所をつくる制度の外側にある課題の解決は、市民活動の領域。例えば環境問題は役所が環境基準を

2）など、私的空間を「ひらく」ことでそこは公共の空間になります。こうした市民活動があると「まち」は豊かになります。

「まち」とは行政や特定の人や団体だけが関わるものでなく、どこでも、誰にでも「ひらける」もので、それが「まちづくり」につながります。



山本賢一町長

地域懇談会での話し合いやユイコのケアドー事業による住民と行政との協働作業など、住民参画と協働をテーマに町づくりを進めています。昔の「結い」のような古き良き時代の助け合いの考え方が、地域づくりに求められる時代。町全体を一つの家族と捉え、地域の連携・活動を大切にしながら一層、協働による町づくりを進めて参ります。

協働事例豆知識

（※1）オープンガーデニング：個人の庭を開放し観光客が自由に見られるもの。小布施町には何度も足を運ぶ観光客が多い

（※2）家庭文庫：自宅などで無償で子供たちに図書を見せたり貸し出すもので、登録制によって公立図書館の図書の貸与を受けているものもある

作っても、地球に暮らす一人ひとりが取り組まなければ解決できない課題。他人事ではなく自分が当事者であるとの認識を持つことが必要です。このように住民と行政が、

ボランティアへの大きな誤解

ボランティアとは、無報酬で行う社会奉仕活動ではない

く、市民による自発的な問題解決行動です。従って必ずし

互いに課題解決のための政策主体であることを認め合うことから「協働」は始まります。両者が互いに必要だからこそ「協働」が求められるのです。

町の民生児童委員が 新しく決まりました

町民生児童委員に次の皆さんが任命され、厚生労働大臣からの委嘱状が十二月三日に山本賢一町長から手渡されました。任期は平成十九年十二月一日から三年間です。

町民生児童委員協議会会長には上岩恵美子さん(下新町)が、副会長には古館壽郎さん(横枕)と中里多喜男さん(大沢)が新たに選出されました。委員の活動についてや相談など詳しくは、同協議会事務局(町社会福祉協議会内 四六一二八八一)までご連絡ください。

主任児童委員 (2人、敬称略)

担当地区	委員氏名
町全域	江刺家 睦子
	小野寺 祐治

主任児童委員は、複雑・多様化している児童問題(特に児童虐待など児童の人権を侵す諸問題)に対応するため、地域の児童委員と一体となって児童福祉活動を行っています。

民生委員

(36人、敬称略)

民生委員は、担当地区を中心に暮らして困っている方や悩みを持っている方の相談、福祉・保健のサービスを利用したい方と行政との橋渡しをしています。また、不登校問題や育児などの相談に応じる児童委員も兼ねています。

担当地区	委員氏名
門前、萩田	工藤 八支子
蓮台野西、桜山	熊谷 禮子
荒町、蓮台野東	工藤 富夫
仲町、本町	瀧澤 弘
大町、元屋町	増尾 恵子
上新町	江刺家 セイ子
下新町	上岩 恵美子
向川原	工藤 禮子
駒木、新大鳥、西里	大鳥 種雄
長倉	日向 日出男
上・下尾田、小松	中里 厚
向高家、高家、外川目	上澤 京子
君成田、山田、新光団地、緑ヶ丘	日影 雄二
仲軽米、沢里、上館	菅原 いく子
岩崎、車門	日山 京子
戸草内、上・下増子内	杉浦 勇五郎
高柳、鶴飼	鶴飼 常男
笹渡、百鳥	田中 辰男
上円子	蛇口 正男
下円子上組・下組、板橋	大村 勇一

担当地区	委員氏名
蛇口、大沢	中里 多喜男
蜂ヶ塚、大久保、米田	土佐 幸子
牛ヶ沢、民田山	長坂 秀子
河北、沢田	田中 勲
上・下河南、八木沢	吉岡 テル
松ノ脇、七ツ役、百目金	松谷 テル子
屋敷、市野々、小玉川	小林 正夫
上・下晴山、内城、早渡	古里 典子
苅敷山、上・下野場	笹山 正義
高清水、沼	三ヶ森 恵子
横枕、観音林東	古館 壽郎
観音林西・南・北	古里 聖一
山口、貝喰、竹谷袋、駒木	山下 勇
上・下谷地渡、大久保	下谷地 芳雄
平、東、和当地、中村	川原 祐子
新井田、駒板、東台、大清水	笹山 茂男

自衛官を募集しています

職種	自衛隊生徒	2等陸・海・空士
資格	中学校卒業の17歳未満男子	18歳以上27歳未満の男子
試験日	平成20年1月12日	平成20年1月下旬
締切日	平成20年1月8日必着	随時

【申し込み・問い合わせ先】
自衛隊二戸募集事務所 (TEL 080-5228-0131)



スクールカウンセラーを 軽米中に配置しています

スクールカウンセラー
佐々木 誠さん
(臨床心理士)
【開設時間と場所】
毎週木曜午後1時~5時
軽米中学校相談室

町教育委員会では毎週木曜日の午後一時から五時まで、軽米中学校内にスクールカウンセラーを配置し、学校生活について町内の生徒、保護者の方からの悩み相談に応じています。話すことから、解決への一歩を踏み出しましょう。

上蓮台野納税貯蓄組合に 岩手県知事表彰



知事表彰状を手にする組合長の畠澤さん

上蓮台野納税貯蓄組合(畠澤徳行組合長、組合員五十八人)が十一月二日、納税功労者として、平成十九年度の県知事表彰を受賞しました。同組合は、昭和四十七年に設立以来、多年にわたり納期内完納を推進し、組合員への納税意識の高揚などが認められての受賞です。

畠澤組合長は「受賞は、これまで組合員の皆さんの協力のたまものと喜びを話していました」

平成19年度中学生 「税についての作文」

小軽米中の 3人に表彰状



全国納税貯蓄組合連合会が募集した平成十九年度中学生「税についての作文」で、小軽米中学校(田村滋校長、生徒五十一人)の生徒三人の作文が入賞し、十一月二十一日に町納税貯蓄組合連合会長の吉岡久蔵さんから賞状の伝達が行われました。表彰者は、次のとおりです。

【写真前列左から】岩手県納税貯蓄組合連合会長表彰の田澤高也くん(2年)、町納税貯蓄組合連合会長の吉岡久蔵さん
【後列左から】二戸地区納税貯蓄組合連合会長表彰の松谷祥太朗くん(3年)、上村果穂さん(1年)

図書購入への寄付 ありがとうございます



同級生代表の高橋さん(左)から山本町長に目録が手渡されました

昭和37年度軽米中学校卒業選暦を祝う会同級生一同(高橋克佳代表=写真左)の皆さんから図書購入費として10万円を町に寄付いただきました。11月14日に山本賢一町長を訪れた高橋さんは「選暦を迎えた記念に、60年間いろいろな方にお世話になった恩返しをと思いみんなに呼びかけた。これからの子供たちのため、図書の充実に役立ててください」と手渡しました。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所
【☎46-2004】

冬道の安全走行に 交通情報の活用を

交通管制センターでは、県内の積雪・凍結情報を集め、皆さんにお知らせしています。交通情報板やラジオ放送などを上手に利用して、安全運転を心掛けましょう。

※電話でのお問い合わせはこちら
【日本道路交通情報センター】
◎全国共通：0570-011011
◎盛岡センター：019-624-2100

初詣の事故にも ご注意ください

初詣にお出かけの際には、道路凍結や混雑などで事故が起こりやすくなっています。

ほかに、次のことに注意しましょう。

- ◎混雑する時間帯はできるだけ避けましょう。
- ◎行列への割り込みはたいへん危険です。譲り合いの気持ちを持って、マナーを守りましょう。
- ◎温かく動きやすい服装・履き物で出掛けましょう。
- ◎現場の警察官や係員の指示に従ってください。

10月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※(累計)は1月からの合計

	当月(累計)	昨年比
▶町内の交通事故		
人身事故	1件(16件)	-1
死亡者	0人(0人)	±0
負傷者	3人(25人)	-2
物損事故	7件(95件)	+4
▶救急車の出動回数	33回(323回)	+22
▶飲酒運転検挙者はありません		



山本監督（中央）と金賞受賞の記念撮影

ふるさとCM大賞で「いっぱい」が金賞を受賞

岩手朝日テレビで1年間に150回放映されます！

ふるさとCM大賞インイW ATE2007（岩手朝日テレビ主催）の審査会が十一月二十五日、盛岡市のいわて県民情報交流センター（アイーナ）で開催され、県内三十市町村が参加する中、本町の応募作品「いっぱい」が二位にあたる金賞（山手県知事表彰）を受賞しました。

「いっぱい」は、町立小玉川小学校（菊池敦子校長、児童二十三人）の児童や地区民など約二百人が出演し、山菜をはじめとする自然や住む人の笑顔、木炭文化などをPRした内容で、「いつまでも、変わらない町」のメッセージが込められたCMです。審査員からは、勢いや元気が伝わる作品との評価をいただきました。審査会の模様は、岩手朝日テレビで十二月二十四日（午後二時から三時三十分まで）に放送予定。作品は、平成二十年中にCMとして全百五十回放送されます。

小型除雪機を団体などに貸し出します

小型の除雪機3台を町内会や行政区、ボランティア団体など（個人は除きます）に貸し出しますのでご活用ください。



なお利用は無料ですが、燃料は利用者の負担となります。

- ・貸出期間：最大で2週間
- ・主な仕様：幅91cm、13馬力 処理能力83t/時

除雪のお問い合わせは、各行政連絡区長さんを通じて地域整備課（x46-4741）までご連絡ください

町では、降雪の際に町内各地の除雪作業を行っています。特に幹線道路は、通勤や通学の時間帯までに作業を終わらせるよう、深夜から早朝にかけて行っています。除雪作業は、町内の広い範囲を短時間で終わらなければなりません。皆さんのご協力をお願いします。

降雪時の安全確保に

ご協力をお願いします

玄関先の除雪は皆さんでお願いします

道路の除雪の際は、除雪車が通った後は、どうしても玄関先に雪が残ってしまいますので、各家庭で排雪をお願いします。

また、車道へ雪を出す時と自動車などに踏み固められて路面がデコボコになってしまったり、凍結したりして、交通事故につながりかねません。道路には出さないようお願いします。

路上駐車は除雪作業の妨げになります

路上駐車は、除雪作業の大きな障害になります。路上駐車があると、除雪車は除雪作業ができずに引き返してしまいます。地域ぐるみで、路上駐車をしないよう呼びかけあいましょう。

また路上へ物を置いたりすると、事故を引きこす恐れがありますので絶対にやめましょう。

除雪中は周辺の通行にご注意ください

除雪作業車のまわりで遊んだり、道路を横断しようとするのは絶対にやめましょう。特に子どもや高齢者の方は、注意してください。

冬季間通行止めのお知らせ

本年度から下記路線については、降雪時の除雪作業は行いませんので、冬季間は通行を控えていただくようお願いいたします。皆さんのご協力をお願いします。

種別	路線名	延長距離
町道	駒木長倉線の一部 (旧長倉保育園～長倉口水吉線)	0.5 km
	長倉口水吉線	7.8 km
	二又線	0.5 km
	八木沢米田線	3.2 km
	蜂ヶ塚坂久保線	1.8 km
	観音林梁ヶ沢下晴山線の一部 (梁ヶ沢丁字路から晴山方面へ)	2.0 km
	内城笹目線の一部 (苧敷山加賀線接続部分～参勤街道線)	0.3 km
	貝喰朝草沢線	1.4 km
	東惣地保線	1.0 km
	新畑線	2.3 km
林道	民田山線	1.1 km

町水道を 利用しましょう

町では、皆さんに安全で安定した飲用水を利用いただくため、水道施設の整備を進め供給しています。

平成十九年四月一日現在の町内普及率は、七九・一％で県内市町村の平均普及率（九一・八％）を大きく下回っています。

地下水などは周辺の環境状態に影響を受けやすく常に同じ水質と限らず汚染の心配もあります。自家水道を使用されている世帯でも、水質管理により安全性の高い町水道を利用いただくようお願いいたします。

なお町水道を利用するには、給水装置工事が必要になります。町指定の給水装置工事業者または町水道事業所（四四六一四七四二）へお気軽にご相談ください。

平成20年度の 町立幼稚園・保育園・児童館園児を募集 お友だちをたくさんつくろう！

保育園 (軽米保育園・小軽米保育園・笹渡保育園・山内保育園)
x46-2905 x45-2680 x45-2784 x47-2085

児童館 (円子児童館・観音林児童館)
x45-2148 x47-2020

※晴高児童館は入所児童の減少のため平成20年度は休館させていただきます

●全保育園・児童館とも

▶受付期間
平成20年1月4日（金）から1月17日（木）まで

▶申し込み方法
入園を希望する保育園・児童館、または健康福祉課・福祉グループ（健康ふれあいセンター内 x46-4736）へお申し込みください

《笹渡・山内保育園、各児童館》

▷入園対象…平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた児童

▷提出書類
入所申込書

《軽米保育園・小軽米保育園》

▷入園対象
小学校就学前の乳幼児

▷提出書類
入所申込書、家庭状況申立書、就労証明書など

▷入園基準
保護者の方が次に該当する場合

- ・日中に家庭外で仕事を持つ方、又は家庭内で家事以外の仕事をしている方
- ・母親が出産や病気中の方
- ・病人などの看護中の場合
- ・災害などで家屋を失い、復旧作業中の場合

軽米幼稚園

x46-2229

▶受付期間
平成19年12月12日（水）から12月21日（金）まで

▶申し込み方法
入園願書と家庭状況調査表に記入の上、軽米幼稚園に直接、お申し込みください。願書と調査表の用紙は、軽米幼稚園又は町教育委員会（教育総務グループ x46-4743）に用意してあります。

▶募集人員

- ・3歳児…30名（H16.4.2～H17.4.1生まれ）
- ・4歳児…若干名（H15.4.2～H16.4.1生まれ）
- ・5歳児…若干名（H14.4.2～H15.4.1生まれ）

▶料金

- ・入園料（入園時）5,200円
- ・保育料（月額）…6,000円

※一定の条件により最高2万円までの減免制度があります。

軽米児童クラブって どんなところ？

子どもたちの健全育成を目的に町が設置しているもので、共働きや日中に保護者の方が不在になるご家庭の小学校低学年児童を対象に、放課後の安全・安心な生活や遊びの場を提供しています。

軽米児童クラブへの入所希望者も募集しています

平成20年度の児童クラブ入所者を次のとおり募集します。

▶場所：町農村勤労福祉センター内（町民体育館隣り）

▶時間

- ◇平日：放課後から午後6時まで
- ◇土曜・学校休業日：午前8時30分から午後6時まで

▶保育料：月額5,000円

▶休所日：日・祝祭日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

▶対象となる児童

- ①町内の小学1年生から3年生で、日中に保護者の方が不在になる児童
- ②健全育成が必要と認められる児童

▶募集期間：平成20年1月4日（金）から1月17日（木）まで

▶申込方法：健康福祉課（健康ふれあいセンター内 x46-4736）に、印鑑を持参のうえ申し込みください

携帯電話の仕組みと怖さを知る



大型スクリーンを使って携帯電話による犯罪被害やマナーを守った使い方を紹介しました

軽米中学校（嵯峨進校長）で十月三十日、全校生徒と保護者が参加して携帯電話の安全な使い方について学ぶケータイ安全教室が開催されました。NTTドコモ東北の職員が、メールや出会い系サイトなどから犯罪やトラブルに巻き込まれる事例などを紹介。カメラ機能など携帯電話を使用する際には周りの人への配慮や料金など自己責任が大きいことを強調しました。生徒からは、携帯電話の価格や料金などへの質問が出されるなど関心を引いていました。

災害への心の備えは消さない

町消防団（増尾俊一団長）と二戸消防署軽米分署（山田武実分署長）は十一月十一日、秋の全国火災予防運動に合わせて一般家庭の防火指導を行いました。軽米中央公民館前では第一分団第一部（堀米成嘉部長）が、災害発生時に便利な非常用食品の紹介や家庭の消火器を点検。地域住民約二十人が消火器を持ち寄り参加しました。詰め替えが必要な消火器を使った火消し体験も行われ、参加者は火の怖さを実感。災害への備えの必要性を感じていました。



詰め替え対象の消火器を使い燃え上がる炎の前に消火体験などを行いました

知って役立つ介護を学ぶ



病院内で使用するベッドを使い、背もたれの立て方や歯磨きの仕方などを学びました

県立軽米病院（横島孝雄院長）主催の介護教室が十一月七日、十二人が参加して同院で開催されました。自宅で看護が受けられる訪問看護の紹介に耳を傾けたほか、塩分濃度に気を配った食事づくりと寝たきりの方の口腔ケアについて理解を深めました。体の起こし方や介護時の顔などへのタッチング（触れること）の大切さを看護師が説明。参加者は「体を起こす角度はどの程度が最適な」と、介護される立場に立った介助の仕方を学んでいました。

郷土食から知る食育のヒント

円子食育フォーラム（円子教育振興会主催）が十一月九日に円子小体育館で開催され、同校児童や地区住民など約五十人が郷土料理や食のクイズなどを通して健全な食生活と地域理解を深めました。自家野菜をふんだんに使ったけんちん汁や雑穀柳ばつと、うきうき団子など同地区の食生活改善グループが腕を振った雑穀料理を試食。大村圭一郎くん（四年）が「雑穀には料理を更においしくする力があることを実感した」と感想を話していました。



食生活改善グループの方々から腕を振った郷土料理を試食して回りました

楽しく賢く学ぼう食生活改善

本年度の町食生活改善推進員養成教室が開講し、第一回教室が十一月十五日に健康ふれあいセンターで開催されました。受講生十七人は、四回開催される教室で、健康づくりの三つの柱である「栄養・運動・休養」についてや、バランスの取れた食事づくりなどについて学習します。この日は、雑穀ご飯に実だくさんの味噌汁、鶏肉を使った吉野煮の調理を実習。受講生同士が、声を掛け合いながら楽しく学んでいました。



調理実習を通じて食生活改善を和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく学んでいました

中高生が語る今と将来への夢



シンポジウムで自分の好きな言葉について発表する中高生の皆さん

町内中高生が自らの意見発表を行う青少年のつどい（町青少年健全育成町民会議主催）が十一月十七日、軽米中央公民館で開催されました。宮古市教育委員長の平井ふみ子さんが講演し「自分を誉めることで自己肯定感が高まる。はびこる情報化社会の中で必要なものを見分ける判断力を身につけて」と生徒へ語りかけました。シンポジウムでは、町の良い所や好きな言葉などについて各校代表の中高生六人が発表。百鳥春香さん（軽米高一年）は「福祉の仕事に就きたい。誰もが使いやすい町にしていきたい」と夢を発表しました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

アグリアリーナで、とちかち財団主催「十勝を食べよう！秋を満喫フェア」が開かれました。アトラクションの「そばの早食い大会」では、5人前を完食する時間が競われ、町内の豊島浩永さん（左から2人目）が優勝を飾りました。



優勝賞品はそばの詰め合わせでした

丈夫に育つ
元気に働く
健やかに老いる

地域包括支援センターに話してみませんか
 ～高齢者虐待について知ろう～

健康福祉課
 （地域包括支援センター）
 看護師
 下谷地由美子

“高齢者虐待”と聞いて何を思い浮かべますか？暴力的行為などで身体にあざ・痛みを与える身体的虐待はよく知られていますが、その他にも、排泄の失敗をばかにする、脅しや侮辱、威圧的な態度、会話の無視や嫌がらせなどの心理的虐待、こらしめのおむつをせずに放置する性的虐待、本人の合意なしに財産を無断で売却する、年金や預貯金を使用するなどの経済的虐待、不潔なままにして十分な水分・食事が与えられないなどのネグレクトと呼ばれ虐待など。

また介護者は、一生懸命介護するあまり、自分の行動を虐待だと感じていない場合もあります。

高齢者の人権は“高齢者虐待防止法”により社会的に守られています。何かお困りのことがありましたら、軽米町地域包括支援センター（TEL46-3906）へお気軽にご相談ください。



プロフィール
【氏名】 Elizabeth DeLacy
(エリザベス・デレイシー)
【国籍】 アメリカ合衆国
【略歴】 アーラム大学卒
2007年8月3日に町の英語指導助手として着任。
本を読むことが好き。

リズィーのまるまる日記

Fumiko: How has this past month been?
文子: 先月は良かった?
Lizzy: It's been OK, but I've been missing home.
リズィー: まあ良かったけど、アメリカの家族を思い出してちゃって。
Fumiko: Really? Why?
文子: 本当? どうして?
Lizzy: Well, the last Thursday of November is a very big American holiday and it was hard to be away from my family.
リズィー: 11月の最終木曜日はアメリカでは大切な祝日で、家族と離れているのが寂しかったの。
Fumiko: What holiday is that?
文子: それはどんな祝日なの?
Lizzy: It's called Thanksgiving. It's about thanking all the people who make you happy.
リズィー: サンクスギビングって呼ばれる日で、自分を幸せにしてくれる全ての人たちに感謝する日なのよ。
Fumiko: So you give presents?
文子: じゃあ、プレゼントをあげるとか?
Lizzy: No. It's a really simple holiday. Everyone gets together with their family and friends and they all cook and eat together.
リズィー: いいえ、もっとシンプルな祝日よ。家族や友人と集まって、皆で料理したごちそうと一緒に食べるの。
Fumiko: What do you eat?
文子: どんなものを食べるの?
Lizzy: Well, the main dish is turkey. Then we also eat salad and mashed potatoes, sweet potatoes, stuffing, bread, pumpkin pie, apple pie, and a whole lot more.
リズィー: メインディッシュは七面鳥。それにサラダやマッシュポテト、サツマイモ、鳥の詰め物、パン、パンプキンパイ、アップルパイ、その他山のようなごちそうよ。
Fumiko: Wow! All in one day?
文子: すごい! 一日でそんなに?
Lizzy: Yes. The average person eats about 3,000 calories for Thanksgiving dinner. It's a lot of food. Almost everyone gains weight over Thanksgiving and Christmas. Also, a lot of people live far from home so Thanksgiving is their only chance to see their family. There's nothing better than a lot of food and a lot of family arguing.
リズィー: そう。普通の人でもサンクスギビングの夕食で3,000キロカロリーは取るわね。すごい馳走。大抵の人はサンクスギビングとクリスマスで体重が増えるのよ。又、多くの人は故郷から遠く離れて暮らしているから、サンクスギビングは家族と会う唯一のチャンスなの。たくさんのごちそうと家族で議論することに勝るものは無いわね。

笑顔あつまれ! みんなの広場

我が家の人気者
あこやかさん



たまだ かずき くん (3歳6カ月)
愛称: かずき
(屋敷) 新治さん・美恵子さんの長男

古文書で見える
軽米の歴史 (86)
その四・野田氏

野田氏初代五郎右衛門は、寛文年間、幕府御馬買・荒木十左衛門を保証人として、八戸初代直房に百五十石で召抱えられた。三代目伴右衛門にいたり、名久井通・志和代官を務め、四代目伴右衛門は知行地軽米、久慈の代官、御近習を務めた。五代目茂太夫は、亡父の後を継ぎ御近習を務め、明和五年(二七六八年)十二月に知行地のうち二十石を叔父の奥右衛門に分地した。奥右衛門は名前を先祖の名五郎右衛門と改め、その地位は御給人座上であった。六代目要人は御近習役、寛政元年(二七八九年)から四年までは八戸廻代官を務めた。野田氏の分家は、奥右衛門改め五郎右衛門を初代として御仲小姓、御山奉行を務め、文化四年(二八〇七年)に蝦夷地でのロシア船の不法な行動により、エトロフ島の会所が略奪された。このとき五郎右衛門は、松前加勢を命じられた。文久年間には、尊攘派と公武合体派の抗争の激しい京都に上がり、京都御用も務めた。野田氏の分家は、蓮台野の野田栄子氏が後を継いでいる。

野田氏の知行百五十石のうち五十八石は上館に、十四石は仲軽米にあり、野田分家の二十石もこのうちに含まれる。
(町古文書解説会)



「御家中分限帳」
(八戸図書館蔵)

夢・希望・えんぴつ

わたしのクラスは六年二組です。学校一と言ってもいいくらいとても元気で明るいクラスです。わたしはこのクラスが大好きです。わたしが落ち込んでいると「大丈夫」と声を掛けてくれます。そのときに勇気と希望を与えてくれるのが六年二組です。ケンカをするときもあります。

それを支えてくれるのがわたしたちの担任の先生です。先生は優しく、いけないことをしたら怒ってくれるとても素晴らしい先生です。わたしたちは先生のおかげで学校での自分があるのではないかなと思いました。わたしたちの目標は、挑戦する勇気を持つことです。この目標はいまだに達成できて

いません。だから、これからこの目標を達成できるようにどんどん勇気を出して挑戦していきたいです。わたしたちには明るさと元気があります。これを唯一のとりえとして、自分のめあてや苦難を乗り越えていきたいと思えます。みなさんも明るさと元気を持って、一日を過ごしてみたらいかがですか。

明るいクラスと

それを支えてくれる先生



まつなが ねみさき さん
軽米小学校6年(元屋町) 松長根美咲さん

今月の雑穀献立

雑穀山菜おこわ



【材料】4人分
・イナキビ… 大きじ1.5
・モチ米… 3カップ
・シイタケ… 3枚
・タケノコ、ワラビ、フキ… 各50g
・ニンジン… 30g
・油揚げ… 1枚
・サラダ油… 大きじ2
・醤油、酒… 各大さじ1
・水… 150g
・固形スープ… 1個
・塩… 少々

【作り方】
①モチ米とイナキビを水につけた後、ザルに取り水気を取ります(別々に水につけるのがコツ)
②シイタケ、ニンジン、油揚げは荒くみじん切りにし、ワラビ、フキ、タケノコは輪切りにして、油で炒めます
③固形スープを溶かし、醤油と酒、塩を入れます
④蒸し器に濡れたふきんを敷いて、蒸気があがったら①を入れて10分間蒸します
⑤大きなボウルに②と③を入れて、かき混ぜた後15分間蒸し、④と混ぜてできあがり

今月の俳句

北光吟社 十月例会句会

虫の音を消してしまし今朝の霜 三上千栄女
吐く息の白く急ぐや登校児 千葉紅園
林檎積む馬車を引く兄想ひもし 中野とき
散策路実の赤々とななかまど 川島由蔵
杉落葉玄関前に屯して 永井きよの
紅葉の七色カーテン露天風呂 早川慶子
コスモスの色変りたる寒さかな 淵沢鉄馬
残菊や支柱離れて向き向きに 古里裕子
ぱらぱらと霰の音に耳を立て 端川石造
カーネーションピンク愛らし返り花 国久黄実
錦木の実の割れ急ぐ日和かな 松村英子

お知らせ
情報
Information



まずはキャッチボールでウォーミングアップ



バッティングフォームも4月よりも格好良く



守備でも飛び出しが抜群に良くなりました



「夢」づくりスポーツ親善大使少年野球教室での清水さんのコーチを受け、それぞれの夢の実現にまた一歩近づきました

職場から死亡労働災害を無くそう

岩手労働局では、県内全ての事業所での死亡災害の防止をめざす「いわて年末年始無災害運動」を12月1日から平成20年1月31日まで実施しています。平成19年に県内で、労働災害により亡くなった方は16人（10月末現在）です。これから年末年始にかけて、凍結・降雪も重なり、労働災害の危険性が一層高くなりますので、無災害をめざし気をつけましょう。

技能講習会を受けて無事故の職場づくり

岩手労働基準協会二戸支部では、小型移動式クレーンとフォークリフト運転の技能講習会を実施します。
▶日時
▷小型移動式クレーン運転 平成20年1月10日～12日
▷フォークリフト運転 ①平成20年1月15日～18日 ②平成20年1月15日、22日～24日
▶会場：二戸職業訓練協会及びカシオペアメッセなにゃーと
【問い合わせ先】岩手労働基準協会二戸支部（☎23-5521）

古電話帳の回収にご協力ください

NTT東日本岩手支店では、12月中旬に新しい電話帳（タウンページとハローページ）の配布とこれまでの古い電話帳の回収を行います。新しい電話帳は、回収した古電話帳からのリサイクルによって作られています。皆様のご協力をお願いします。
【問い合わせ先】タウンページセンター（☎120-506-309）

放送大学で学ぼう20年度学生を募集

放送大学は、テレビやラジオを通じて自宅で学ぶことができる通信制の大学で、4年以上在学し単位を取得すれば大学卒の資格も得られます。平成20年度1学期生を募集します。
▶募集期間：12月15日（土）から2月15日（金）まで
▶学費
▷入学金：教養学部1万6千円 大学院 2万2千円
▷授業料（1科目）：教養学部1万1千円、大学院2万2千円
【問い合わせ先】放送大学岩手学習センター（岩手大学構内 ☎019-653-7414）

NHK学園通信の20年度生徒を募集

NHK学園では平成20年度の学生・受講生を次のとおり募集します。受講希望の方には無料の案内書・願書を郵送します。
▶募集講座と受付期間
▷高等学校普通科・選科 2月1日～4月20日
▷専攻科社会福祉コース 1次募集：12月20日～3月1日 2次募集：2月20日～3月17日
▷社会福祉士養成課程 1次募集：12月1日～1月23日 2次募集：2月1日～3月5日
▷生涯学習通信講座（趣味から資格まで全200コース）：随時
【問い合わせ先】NHK学園（☎042-572-3151）

県の物品購入等入札参加資格申請を受付

岩手県が物品を購入したり、印刷物を発注するために行う入札に参加する場合には、物品購入等競争入札参加資格が必要です。資格を得るには、次のとおり申請書を提出してください。
▶受付期間：平成20年1月7日～1月31日
▶資格の有効期間：平成20年4月1日～23年3月31日

▶申請書の配布・受付・問合せ先
二戸地方振興局企画総務部（支出入札課 ☎23-9201）

首都圏への就学には県学生会館の利用を

県学生会館では、首都圏の大学、短大、専修学校などに就学する県内出身者を対象にした入寮生を募集しています。
▶募集人数：男女各15人程度
▶費用：入寮時10万円、月額8万5千円（朝・夕食含む）

▶申込受付期間
①前期：1月30日～2月13日
②後期：2月27日～3月12日
【問い合わせ先】（財）県学生援護会（☎03-3972-4783）

県社会福祉審議委員1名を公募します

県では、社会福祉審議会の委員1名を県民から公募します。
▶募集期限：平成20年1月10日
【問い合わせ先】県庁・保健福祉企画室（☎019-629-5412）

内科	休日当番医	歯科
二戸クリニック（☎25-5770）	12月23日（日）	曾根歯科医院（☎27-3108）
すがわら消化器内科（☎23-2879）	24日（月）	沢藤歯科医院（☎25-4002）
金田一診療所（☎27-2205）	30日（日）	右門歯科クリニック（☎38-2288）
むらかみ医院いたみのクリニック（☎48-1500）	31日（月）	国香歯科医院・裏小路（☎23-2223）
よこもり眼科クリニック（☎22-2230）	1月1日（火）	お休みします
千葉耳鼻咽喉科・小児科（☎23-2009）	2日（水）	三澤歯科医院（☎23-2445）
小野寺クリニック（☎46-2822）	3日（木）	菅歯科（☎23-5161）
おりそ内科・循環器クリニック（☎22-2251）	6日（日）	森川歯科医院（☎23-6361）
浄法寺診療所（☎38-2021）	13日（日）	沢藤歯科医院（☎25-4002）
松井内科医院（☎33-2201）	14日（月）	国香歯科医院・裏小路（☎23-2223）

税の一口メモ

給与所得者と年末調整

給与所得者は、通常その年の最後の給料又は賞与の際に、所得税の精算が行われるため大部分の方は確定申告の必要がありません。これを「年末調整」と呼び、所得税が納め過ぎの場合には還付され、不足の場合には徴収されます。

【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）

【平成19年分の年末調整注意事項】
①定率減税（昨年までは所得税額の10%相当額で最高12万5,000円）が廃止され、また所得税の税率が改正されました
②損害保険料控除が地震保険料控除に変わりました

町税の納期限
（12月25日まで）

固定資産税 3期

国民健康保険税 6期

早めに納付ください

戸籍の豆知識

名前をつけるとき

出生届の名前には、常用漢字1,945字と人名用漢字983字（ともに平成19年11月30日現在）のほか、平仮名、カタカナを使うことができ、読み方の制限はありません。一方アルファ

【問い合わせ先】
役場・町民生活課（☎46-4735）

ベットや数字、変体仮名、父母や兄弟と同じ名前など同戸籍に記載のある名前は付けることができません。お子さんの幸せを考えたお名前を付けてあげてください。

図書館だより

— 今月の新着図書 —

【児童書】

かんたん！読書感想文

監修：工藤順一



「読書感想文？もうそんな言葉、聞きたくない！」というキミ。魅力的な感想文が書けるようになる方法があるんです。それは、ヒミツの『魔法』なんだ。

クリスマス・正月の工作図鑑

著：岩藤しおい



身近な素材で、クリスマスやお正月の飾りを作ってみよう。落ち葉とつるのリース、ミニ門松などほのぼのとして温かな手づくり作品を紹介します。

【一般書】

カラー図解

こんな違う！もらえる年金

著：亀岡秀人

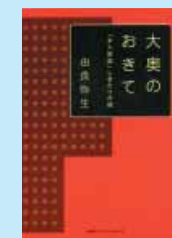


年金問題、自営業者・パートタイムや派遣で働く人の年金、消えないための年金手続きなど、知らないや後悔する年金の仕組みをわかりやすく解説する。

大奥のおきて

著：由良弥生

大奥は何のために設置されたのか、本当に男子禁制だったのか…。江戸の歴史を動かした巨大な力、大奥にまつわる謎を一問一答形式で紹介する。



図書館ひろば
クリスマス会

◎日時：12月22日（土）
10:00～11:00

◎会場：軽米中央公民館
◎対象：小学生、幼児

参加をお待ちしています！

町のこよみ・かるまいカレンダー

12月 December

16	日	夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】～18日
17	月	
18	火	児童相談【ふ】9:30～12:00 教育相談【公】9:00～12:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00(予約 ☎23-3111)
19	水	1歳6カ月児健診【ふ】13:00～13:30受付 H18年4月～7月生まれ対象
20	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
21	金	
22	土	図書館ひろば・クリスマス会【公】10:00～12:00 にこにこ広場【軽米保育園】9:30～11:30
23	日	【天皇誕生日】
24	月	【振替休日】
25	火	教育相談【公】9:00～12:00 町税の納期(固定資産税3期、国民健康保険税6期)
26	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
27	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
28	金	役場仕事納め
29	土	
30	日	
31	月	工業統計調査日

1月 January

1	火	【元日】 第22回元旦マラソン【ハ】11:00～
2	水	
3	木	町消防団出初め式【役場】9:30～
4	金	役場仕事始め
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	こころの相談【ふ】14:00～16:00 教育相談【公】9:00～12:00 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00～15:00(予約 ☎23-3111)
9	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付 H19年2月、5月、8月、10月生まれ対象 少年少女スキー教室【安比高原スキー場】～10日 ピヨピヨ教室【ふ】10:00～12:00
10	木	あのなっす相談所【老】10:00～15:00
11	金	
12	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30～11:30
13	日	町子ども会卓球大会【体】
14	月	【成人の日】
15	火	教育相談【公】9:00～12:00

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター 老:老人福祉センター
 フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館
 ハ:ハートフル・スポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
 TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
 URL http://www.town.karumai.iwate.jp/



軽米幼稚園(戸草内勝夫園長)園児のお母さんが集まって手づくりお弁当の勉強会が11月15日に中央公民館で行われました。ウィンナーソーセージを使い、定番のタコや動物、お花などを創作。アイデアあふれる作品が出来上がっていました。

冠婚葬祭 10月届出分
＜敬称略＞

おめでた

- 下新町 さとう あいり (美夫) 佐藤 愛莉
- 松ノ脇 まつやま こうし (隆憲) 松山 倖志
- 大町 たけはな るか (大輔) 竹花 瑠香
- 下増子内 はんのきざわ かのん (隼人) 檀澤 華音
- 沢田 たなか ゆりあ (勉) 田中 結里愛
- 高清水 ふるだて あさひ (武) 古館 朝陽

おくやみ

- 上谷地渡 八重座 昇 (71歳)
- 荒町 大道口 タケ (83歳)
- 上野場 平内 よしの (94歳)
- 上河南 安田 トセ (87歳)
- 岩崎 水上 岩藏 (79歳)
- 観音林北 古館 信一 (85歳)
- 観音林東 長坂 福美 (80歳)
- 屋敷 小林 ミヤ (86歳)
- 内城 高澤 キヨ (86歳)
- 上新町 堀米 テル (92歳)
- 上増子内 戸草内 ヨシ (77歳)
- 百目金 中野 ハツ (97歳)
- 下門子組 泉山 貞子 (82歳)
- 河北 清藤 イト (78歳)
- 上新町 橋本 ツヤ (84歳)
- 連台野 畠澤 吉郎 (100歳)
- 下河南 江刺家 コト (89歳)
- 長倉 松長根 ハツ (79歳)
- 連台野 追出町 西藏 (86歳)
- 屋敷 玉館 富藏 (73歳)

おしあわせに

- 畑澤 清隆 (長倉)
- 小笠原 めぐみ (二戸市)
- 中村 拓也 (下新町)
- 皆川 めぐみ (門前)
- 戸草内 剛 (仲町)
- 坂下 広美 (八戸市)

●人の動き <平成19年10月31日現在/町民生活課調べ>

男 5,495人 (+2) / 女 5,698人 (-6)
 合計 11,193人 (-4) / 世帯数 3,744 (+3)
 ※ () は前月比
 転入 21人 (167人) / 転出 13人 (266人)
 出生 8人 (59人) / 死亡 20人 (151人)
 ※ () は1月からの累計

ほっとひといき / 編集後記

ふるさとCM大賞で準Vの金賞を獲得。昨年は大賞だったため「惜しくも2位」と思える賛沢感も味わいました。昨年、今年と共通するのは住む人が元気で町を愛しく思う気持ちが伝わってくる。振り返って思うのは、CM制

作の過程そのものがまさしく「ふるさと愛」を感じた瞬間でした。撮影には挫折や失敗、苦労が多かったことも印象的でした。少々大げさかもしれませんが、そんな思い出深い作品は12月24日に放送予定です。ぜひご覧ください(鶴飼)